

都 々 逸

つつむ人目の手拭いにとって 月に着せたい頬かむり
 来てはちらちら思わせぶりな 今日もとまらぬ秋の蝶
 およそ世間に切ないものは 惚れた三字に義理の二字
 帰しともないお方は帰り 散らしともない花は散る

**平家物語の世界**

作者は不詳、信濃前司行長か？時長か？

「祇園精舎の鐘の声、諸行無常の響きあり」という有名な書き出しで始まる「平家物語」は軍記物語の代表作品で、平安後期から室町にかけて繰り返された戦乱の世を反映して書かれ平安貴族と新たに台頭してきた武士たちの生き様を対照的に描いている。日本文学を代表する傑作といえる。

江戸ごぼなし 【かな文字】

女郎の部屋で、漢字のいたずら書きをしていた馴染みの客が「この漢字というやつは、むずかし過ぎて、お前たちにはとても書けまい」と、からかうと、女郎も負けずにやり返し、「なにさ。わっちらは、そのむづかしい漢字が、かなで書けるのさ」

経済の時間 【市場経済】

政府の介入を極力少なくし、市場の自由に任せる経済のこと。資本主義の代名詞にもなっている。自由市場では低価格で、高品質、サービスの提供の優れた企業が生き残り、他の企業は淘汰されていく。しかし、政府の介入を排除した市場経済は、弱肉強食の世界となり強い企業はますます強くなり、競争力のない企業は淘汰され、失業者が増える。所得格差が広がり、苦しい生活を強いられることになる。市場経済も万能ではないことを自覚しうまくコントロールする知恵を身につける必要がある。反対語は、統制経済。

数学の時間

長さ30cmのテープを25本つないで1本のテープを作り、全体の長さを6m30cmにしたい。つなぎ目の、のりしろの長さをすべて同じ長さにする時、1つの、のりしろの長さは、何cmにすればよいか？

数学の時間・・・答え

40号の答え……102, 564

サラリーマン川柳

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 へーじゃない お前のことだ ハイと言え | 6 体より 体に悪い 妻のぐち |
| 2 大御所と 呼ばれる歌手が 同い年 | 7 たまるのは 仕事 ストレス 請求書 |
| 3 ストレスの 元が君とは 言えぬ僕 | 8 だまされた 閉店セール つぶれない |
| 4 病院へ 行けば 元気な人ばかり | 9 常識を へーと驚く ただのバカ |
| 5 これからだ それが今では これまでだ | 10 すくすくと 育ったつもりが ぶくぶくと |

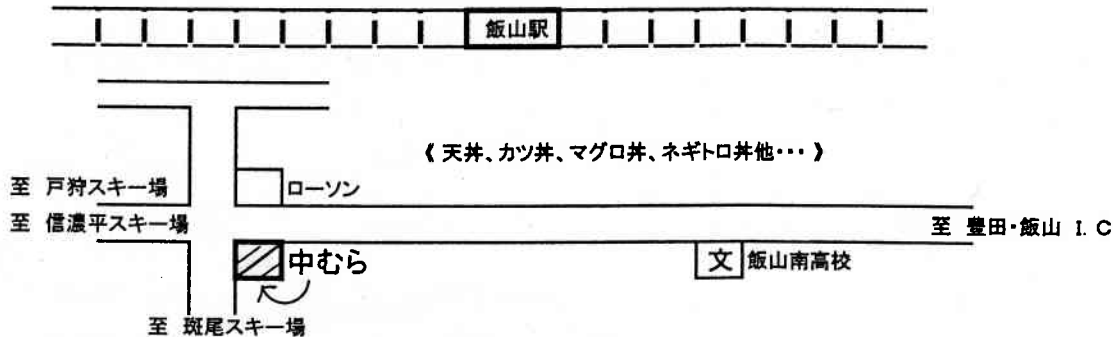
歴史への招待

【三国志・死せる諸葛、生ける仲達を走らす】

諸葛と仲達が対決した五丈原の戦いは、諸葛が陣中で没したことによって終わる。234年8月のことであった。蜀軍はひそかに撤退に移ったが、この動きは、ただちに魏軍にもたらされ、仲達は自ら先頭に立ち追撃した。すると蜀軍は、旗の向きをかえ、出撃の太鼓を鳴らして反撃の態勢をとり、数十人の大将が一輛の四輪車をとりまいて押し出してきた。車に端座しているのは、諸葛である。これを見た仲達は大あわてで馬首を返して逃げ戻った。二日後、土地の者の知らせで、車上の諸葛は木像だったことが分かり、これより、蜀の人々は「死せる諸葛、生ける仲達を走らす」と、言いやすようになった。

おいしい「和食」のお店

【長野県 飯山市 編】



江戸のことわざ

【香り松茸、味しめじ】

キノコは秋の味覚の代表格で、香りでは松茸が、味ではしめじが一番であるという意味。「匂い松茸、味しめじ」とも言う。松茸は特有の香気が珍重され、歯ざわりもよく、吸い物、焼き松茸、土瓶蒸し、松茸ごはんなどとして好まれる。

江戸時代幕府は上野太田(現在の群馬県太田市)の金山が松茸を産出するのでこの山を直轄林とし将軍家光の時から毎年献上させることになった。松茸はじめキノコ類は京都産のほうが美味しいだろうが、勅使が江戸城を訪れた時、必ず料理の中にキノコを用いた。

お知らせ

お読み戴いています『かわらばん ナカニワ』そして他にも少々……
当社ホームページに載っております。是非ご覧下さい。

<http://www.nakaniwa-cons.co.jp>